



盛岡市遺跡の学び館 第19回企画展 開催要項

会期 令和3年10月2日(土)～令和4年1月23日(日)
 会場 遺跡の学び館 企画展示室
 主催 盛岡市遺跡の学び館
 後援 岩手考古学会, 岩手史学会, 岩手日報社, 朝日新聞盛岡総局, 読売新聞盛岡支局, 毎日新聞盛岡支局, 時事通信社盛岡支局, 共同通信社盛岡支局, 河北新報社, 産経新聞盛岡支局, デーリー東北新聞社, 盛岡タイムス社, NHK盛岡放送局, IBC岩手放送, テレビ岩手, めんていテレビ, 岩手朝日テレビ, 岩手日日新聞社, 岩手ケーブルテレビジョン, エフエム岩手, ラヂオ・もりおか, 月刊アキュート, 情報紙ゆうゆう

関連事業

学芸講座II「遺跡調査からわかること①」
 日時 令和3年10月17日(日) 13:30～15:00
 会場 遺跡の学び館 研修室
 講師 遺跡の学び館職員

学芸講座III「遺跡調査からわかること②」
 日時 令和3年11月21日(日) 13:30～15:00
 会場 遺跡の学び館 研修室
 講師 遺跡の学び館職員

体験学習会「考古学者になってみよう」
 日時 令和3年12月26日(日) 10:00～12:00
 会場 遺跡の学び館 体験学習室

もくじ

はじめに……………3
 1 考古学って?……………4
 2 土から声をきく……………8
 3 土器から推理……………14
 4 わかったことをいかす……………25
 おわりに……………28
 すぐろく



はじめに

めいたんてい
 名探偵ときいてなにを思い出しますか?

えどがわ
 江戸川コナン君, シャーロック・ホームズ,
 あけちこころう きんたいち こうすけ けいじ
 明智小五郎, 金田一耕助, 刑事コロンボ……



あしあと しもん
 のこされた足跡や指紋, おちているもの, メモのメッセージ。

すいり しけん かいけつ
 名探偵は手がかりをさがして, 推理し, 事件を解決します。

こうこがくしゃ
 じつは, 考古学者も名探偵のように, 地面にのこされた物から,
 昔の人たちが何をしていたのか推理します。

あなたは, このひとつの土器からなにを推理しますか?





1. 考古学って?

1 考古学って?

考古学は、物から昔の人の様子を研究する学問です。文字の史料などから昔のことを研究する歴史学や、人を研究する人類学などの仲間です。

考古学は、「遺跡」と「遺構」と「遺物」から昔の人の様子を研究します。

「遺跡」とは、「遺構」と「遺物」がある場所です。

「遺構」は、地面や地下に昔の人たちが残した跡です。たとえば埋まってしまった建物の跡や掘った穴などがあります。古墳やお城の跡は、今も地表から見るることができます。

「遺物」は、昔の人が使ったり持ってきたりした物です。たとえば粘土を焼いて作った土器、石で作った石器、動物の骨で作った骨角器などがあります。昔の人が火をたくために持ってきた木の枝も遺物です。

考古学はこれらから、そこで昔の人が何をしたのかという歴史を解明します。

2 考古学のあゆみ

日本で最初に歴史を解明する発掘調査をしたのは、時代劇で有名な水戸黄門とされています。今から約330年前の1692(元禄5)年に佐々介三郎宗淳(ドラマ水戸黄門の助さんのモデル)に命じ、古い石碑(那須国造碑)と古墳(上侍塚古墳, 下侍塚古墳)の発掘調査をしました。出土品は記録を作り、箱に入れて大切に埋めもどしたそうです。

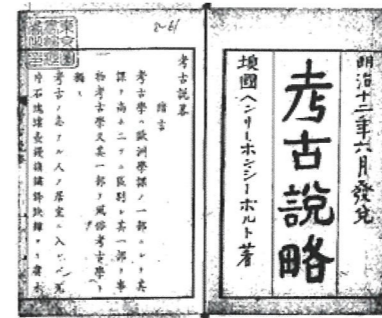


下侍塚古墳 (大田原市教育委員会写真提供)



約330年前の発掘調査報告書 (湯津神村車塚御修理 (大金重晴氏蔵))

明治時代になると、今から約140年前にはアメリカ人動物学者エドワード・モースが大森貝塚(東京都)の調査を行い、土器を「Code marked Pottery」(今の縄文土器のこと)と分類したり、1879(明治12)年にドイツ人のヘンリー・シーボルトがヨーロッパの考古学を紹介したりするなど、最新の研究方法が日本に紹介されました。



ヘンリー・ホン・シーボルトが、ヨーロッパの最新の考古学を伝えた「考古説略」(写真出典: 国立国会図書館デジタルコレクション)



3 身近な考古学

盛岡市内には約780ヶ所の遺跡があります。あなたの家の近くには、どんな遺跡がありますか? 「盛岡市遺跡地図」やインターネット「もりおか便利マップ(*)」で見てみましょう。

遺跡は法律(文化財保護法)で、工事でこわす前に発掘調査をすることになっています。

遺跡の学び館では、令和2年度に10件の発掘調査、24件の試し掘り、115件の工事に立ち会う遺跡調査をしました。日本全国では年間約8700件の発掘調査が行われ、このほとんど(約95%)は工事でこわれる前の発掘調査です。

じつは、身近なところで考古学者たちが発掘調査をしています。もちろん、遺跡の発掘調査は世界中で行われています。

*「もりおか便利マップ」

検索「もりおか便利マップ」
>土地情報>レイヤ表示切替
>埋蔵文化財



里館遺跡(天昌寺町)の調査風景



発掘調査されたポンペイ遺跡(イタリア)

どうしてわかるの？

2. 土から声をきく

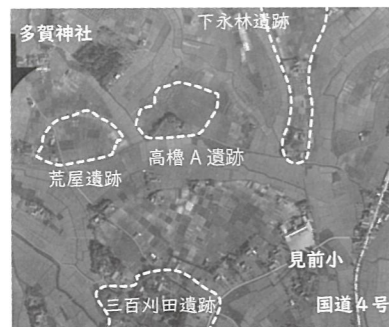


1 どうして遺跡があるとわかるの？
遺跡は次のヒントをもとにさがします。

ヒント1 古い地形をみる

古い地図や古い航空写真からさがします。

古い航空写真で畑や家があるところは、遺跡があるかもしれません。
下の西見前周辺の古い航空写真と遺跡のある場所を比べてみよう。



1948 (昭和 23) 年 5 月 アメリカ軍撮影



2008 (平成 20) 年 9 月 国土地理院撮影
(写真出典：国土地理院ウェブサイト)

色がこくなっている畑や家があるところに遺跡があるね。古い航空写真は国土地理院のウェブサイトで見ることが出来ます。

ヒント2 地面に見える物をさがす

実際にあるいてみよう。畑など土を耕した場所では遺物を拾えることがあります。土器がたくさん拾えれば、そこはその時代の遺構があるかもしれません。

ヒント3 掘ってみる…みんなは勝手にほっちゃだめだよ！

一部分だけを試しに掘って(レンチを掘るといいます。), 遺構があるかないか、ありそうな地形かどうか調べます。表面の土だけを平らに掘って調べます。



パワーショベルで、地面を平らに掘ります。



竪穴建物跡がみえます。

2 どうやって土の中の遺構を見つけるの？

昔の人が地面に残した跡(遺構)はどうやって見つけるのでしょうか。

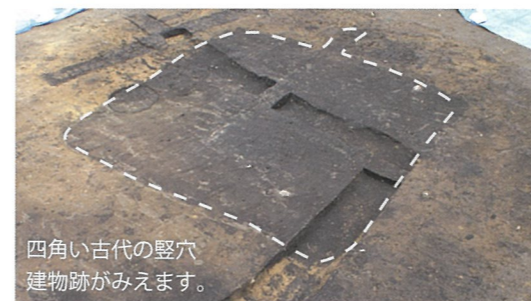
表面の新しい土をパワーショベルで取りのぞき、ジョレンやいしょくべうなどでいねいに土をけずると、遺構があるときは土のちがいが見付かります。土のちがいを上から見て、どんな遺構が埋まっているのか推測します。

四角くて一ヶ所が飛び出た形なら古代のカマドのある竪穴建物跡、丸や四角きそくてきが規則的になれば掘立柱建物跡、長く続けば水路の溝跡、などと推測します。

土の中の遺構が見つかるしくみ



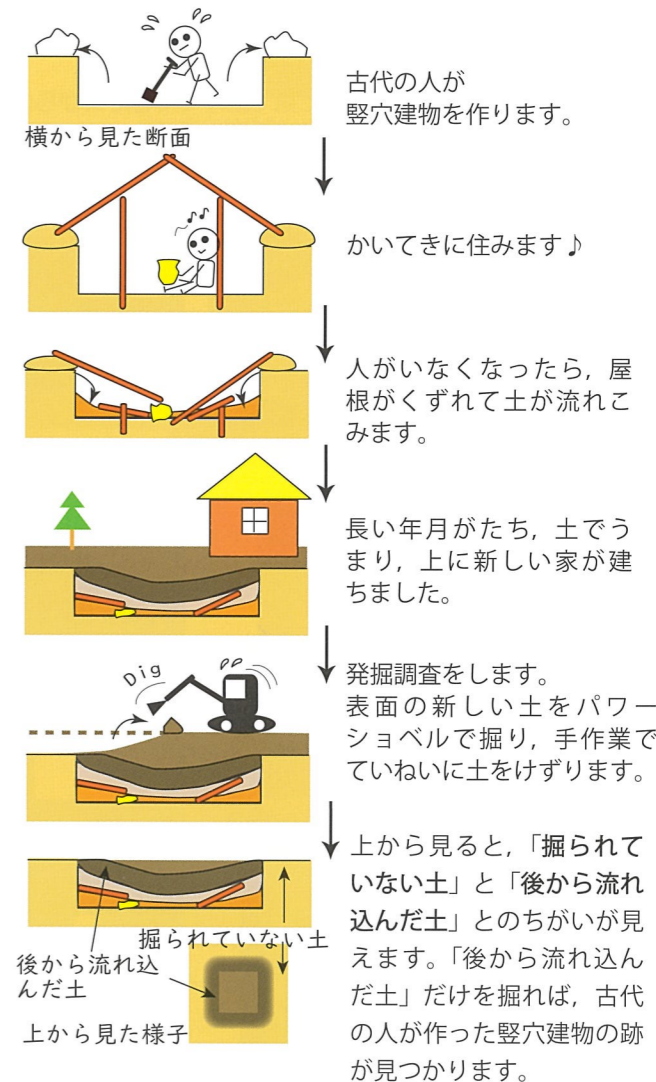
土のちがうところをさがします。「遺構検出作業」といいます。



四角い古代の竪穴建物跡がみえます。



溝の跡はこのように見付かります。





1 なぜ土器をみるの？

食べることは生きるために必要なこと。

私たちは、おなべなどで料理して、おちゃわんなどの食器にもりつけて食べます。昔の人も同じように料理をして食器を使いました。

約1万年前の縄文時代から、人は粘土をこねて火で焼いて固めた土器を作りはじめました。1500年ほど前からは窯を使って須恵器や陶磁器などの焼き物を作りました。やがてガラスやプラスチックが作られ、形も使いやすいようにどんどんかわってきました。発掘調査でたくさん出土する土器は、人のくらしや時代を知ることができる、とても大きな手がかりです。



縄文時代 奈良～平安時代 江戸時代 昭和30～40年代 (ソース・牛乳・ヤクルト)

2 土器をみるポイント よく観察すること！気づくことはないかな？

① いっしょに使われた道具のセット

一緒に使われた道具のセットを「組成」といいます。遺物をひとつだけ見るのではなく、一緒に出土した組成から生活の様子がわかります。

○現代人は… テレビ、冷蔵庫、炊飯器、洗濯機、食器、なべ、フライパン、はし、スプーン、包丁、はさみ、かばん、服、くつ、スマホ、パソコン、自動車、テレビゲーム…

○縄文人は… 様々な形の土器（深鉢、浅鉢…）、石器（石皿、すり石、石斧、ナイフ、石鏃、石槍…）、つるを編んだかご、毛皮の服、土偶、動物の骨で作ったアクセサリ…



大館町遺跡出土の土偶

② どこから、どのように出土したのか（状況・地点・層位）

遺物が出土した様子から、わかることがあります。発掘調査では、遺物はみつけてもすぐに取り上げず、観察して記録しながら取り上げます。

・どの場所から、どのように出土したか

火をたいた場所のそばなら、お料理（煮たき）に使ったのかな？

竪穴建物跡の床から出土したなら、住んでいた人がおいていったのかな？

土坑から割れてたくさん出土したら、ゴミとして捨てられたのかな？

・どの層から出土したのか、上下の場所のちがい

発掘調査では土のちがいの層ごとに遺物を取り上げます。

出土した層の上下で遺物にちがいはあるか、層ごとに観察します。

③ 種類・形・模様・つくり方などでグループわけ

土器の作り方ごとにグループにわけます。縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、あかやき土器、かわらけ、陶器、磁器、など、作り方や形によって分類します。その時代の特徴がわかります。



大館町遺跡の土坑（人がほった穴）の土器出土の様子。土器をまとめて捨てたのでしょうか。



荒屋遺跡の竪穴建物跡のカマドを調査していたら、土器がさかさまにおかれていたり、まわりにちらばったりして出土しました。さかさまの土器はカマド本体の芯材、散らばっているものは、おなべのように料理に使ったものでしょう。



台太郎遺跡 RA305 竪穴建物跡から出土した土器のセット。このくみあわせは1150年くらい前の特徴です。